

『社会学研究』68号(2000年10月20日)

特集「世紀転換期における社会学理論の課題」

- ・「可能態と形式の規定 マルクスの行為分析の展開のために」(加藤眞義)
- ・「社会国家と自律 ハーバーマスにおける社会国家論の展開」(水上英徳)
- ・「「秩序問題」における 関係性 の視角」(山田佳奈)
- ・「「コミュニケーション」の変転 そのポテンシャルをめぐる理論史的一考察」(高橋徹)

論説

- ・「マックス・ヴェーバーの社会科学論における「学派」分析の視角とその性格」(相沢出)
- ・「民主制と外交政策 ロバート・ダールの議会改革論」(上田耕介)
- ・「日本における性役割意識研究の動向と課題」(神林博史)
- ・「都市近郊における農家の花卉販売活動の展開と現状 名取市高柳の事例をもとに」(劉文静)
- ・「農村女性の家族内役割分担と産直 宮城県田尻町通木地区の事例」(丹治祥子)
- ・「兼業化の深化と稲作生産組織の動向 山形県酒田市中野曾根の事例」(三須田善暢)